

第8回 こまつ笑顔 フォトコンテスト作品募集

今回のテーマ 「ハッピーアニバーサリー」

誕生日や入学式、還暦のお祝い、初めて〇〇した日など、いつまでも心に残る楽しい記念日。そんな特別な日のハッピーな笑顔を収めたすてきな写真をお待ちしています。



- 応募資格 市内に在住、在学、勤務する人
- 応募方法 応募票を添付し、下記の応募先へ郵送、持参またはEメールでご応募ください。応募票は市ホームページからダウンロードできます。
- 応募点数 1人3点まで。画像データまたはカラープリント。被写体(本人または保護者)の承諾を得てください。
- そのほか 画像データはJPEG形式。カラープリントは四つ切り(ワイド可)サイズとします。詳しくは、市ホームページをご覧ください。
- 応募締切 9月28日(金)当日消印有効
- 応募先 〒923-8650 小馬出町91番地 広報秘書課「こまつ笑顔フォトコンテスト」係
✉egao@city.komatsu.lg.jp ☎24・8016

一眼レフ・デジタルカメラ・スマートフォン
どれでもOKです。

ここが聞きたい!

市政情報講座

皆さんのまちへ市の職員が出向き、市の施策や暮らしに役立つ情報を分かりやすく説明します。

- 対象 町内会やNPOなど、市内の各種団体または市民を含む任意のグループ(おおむね10人以上)。
- 開催日時 講師の派遣は9時から21時までの間で選んでください。時間は1時間程度です。
- 開催場所 市内に限ります。会場は申込者が準備してください。
- 申込方法 希望日の2週間前までに、申込書を広報秘書課へ提出してください。
- 料金 講師派遣料は無料です。
- そのほか 受付後、各講座担当課から連絡します(日程を調整させていただく場合があります)。この講座は、個別に要望や苦情をお聞きする場ではありませんので、ご了承ください。

- 約100テーマを用意しています。
- 講座メニュー(一例)
- こまつ歴史講座 **NEW**
 - もっと知ろうよ緩和ケア **NEW**
 - ご当地グルメ小松うどんについて **NEW**
 - 誰でもわかる認知症予防
 - 高齢者向け防火講座
 - 町家・古民家を活かしたまちづくり など



詳しくは市ホームページをご覧ください。



申し込み・問い合わせ 広報秘書課 ☎24・8016



生産システム科学科
木村 春彦 教授
研究分野/情報科学、人工知能

ますます広がる人工知能の世界

人工知能というと、「AI」という言葉が最近よく聞かれるようになりました。いわゆる言葉を発するロボットを想像する人も多いかもしれませんが、実は定義が曖昧で、端的に言うと「知的なシステム」という説明になります。従来の単純な制御システムと同じような動きをするものでも「知的」と判断され、「人工知能」と呼ばれているものもあります。

人工知能はあくまでも「手段」です。社会や日々の暮らしの問題を解決するために人工知能をいかに活用するかが大切で、これまで、福祉や経営、環境、文学など、理系や文系を問わず、様々な領域の人たちと知的な機械やシステムを開発してきました。

今後も更に、私たち人間が行っている仕事などが、人工知能に代替される世界になっていき、オフィスや一般家庭にもどんどん入ってくるでしょう。ただし、現在の人工知能は「学習」はできても、進化や教わったことを超える「発想」はできません。だからこそ、人間の想像力や感受性といったものが一段と大事になるため、学生には図書館で様々なジャンルの本を読むことを推奨しています。便利な世界になればこそ、頭と体を鍛えていかなければなりません。私は神奈川県川崎市出身ですが、28歳の時に教鞭をとってからは、ずっと金沢で暮らしています。石川県は、自然が多く、そして食べ物がおいしいところが魅力ですね。



公立小松大学 開け!研究室のとびら 生産システム科学科編

公立小松大学には、様々な専門分野の教員が在籍しています。どのような研究をしているのか紹介します。
問い合わせ 公立小松大学 ☎23・6600



生産システム科学科
酒井 忍 教授
研究分野/機械設計、スポーツ工学

進化する高性能スポーツマシン

現代スポーツには、用具や設備が必要不可欠ですが、アスリートのパフォーマンスを最高に引き上げるため、ハードウェアの高性能化・高機能化を研究する新しい分野が「スポーツ工学」です。分かりやすく言えば、これまで人間が機械に合わせたところを、人間に合わせた高性能の機械を作るところです。

野球用のピッチングマシンは、バッティングセンターなどで見たことのある人も多いかと思いますが、野球ボールには縫い目があり、マシンで投げられる球種や球速には限りがありました。私が開発したピッチングマシンは、最高球速160km/h、直球はもろろん、カーブやスライダー、フォーク、ジャイロボールなど全ての球種が可能になりました。また、コントロールも希望するコースにボール2個未満の高精度で投げ分けができます。

これほど高性能な機械を作るには、機械全体で0.01ミリ、1部品当たりでは1ミクロン(1000分の1ミリ)の精度が必要です。精度を高めていく作業は大変ですが、そこがものづくりの魅力でもあると思います。

小さい頃から、機械の組み立てや分解が好きでした。また、中学・高校と野球をやっていた経験も今の研究につながっているのだと思います。野球用ピッチングマシン、バドミントンのシャトル発射マシンに続き、現在は卓球用マシンを開発しています。